

# 山陰地域ソーシャルラーニングに関する取り組み

## 山陰地域ソーシャルラーニングとは？

自然・歴史・文化・産業等において、そして地域社会の抱える課題においても共通の基盤を有する山陰地域の5大学・短大（島根大学・島根県立大学・鳥取環境大学・島根県立大学短期大学部・鳥取短期大学）が、地域社会の人材ニーズに応えるというミッションを共有し、地域ステークホルダーとともに「ソーシャルラーニング」を開発する中で、共通課題を解決する試み。

## 山陰地域フィールド体験学習 — 里山と食の繋がり —

浜田市弥栄町で自然との共生、資源の利用、そして命を頂くことについて考えた。

島根県立大学からは私たち松江キャンパスの他にも浜田キャンパス、出雲キャンパス、そして島根大学から幅広い大学からの参加があり、3泊4日の体験を通して交流をした。体験内容も木の間伐体験、猪の解体、コンバイン体験など様々で、何よりも体験を通じて弥栄町の方々と楽しく交流できたことが心に残った。

## 学生間交流PJ

- 第1回：IN 松江 意見交換・堀川遊覧や武家屋敷など松江市内散策
- 第2回：IN 倉敷 意見交換・鳥取短期大学内見学・東郷湖にて足湯
- 第3回：IN 松江 松江市内図書館巡りツアー（おはなしレストランライブラリー・私立曾田文庫・島根大学付属図書館を見学）・意見交換

### <参加者感想>

- ・初めて知り合った人と意見交換をするのは難しかったが、皆さんの意見がすごく新鮮で自分にとって新しい発見にも繋がったのでとても充実した企画に参加出来て嬉しかった。
- ・図書館巡りツアーでは図書館学を学んでいる身としては様々な図書館を見学でき、そして多様な意見が聞けてとても勉強になった。
- ・普段違う場所で異なったことを学んでいる学生と意見を交換したり、一緒に散策したりすることで同じ学生だけれども、違う視点があるということに気づける良い機会だった。



## 山陰海岸での海ごみ調査実習

鳥取砂丘で海ゴミを拾い、ごみを分別・計量・考察をし、海岸のごみ問題の現状を知るという授業に参加。海ゴミ拾いのボランティアには参加したことがあったが、海ゴミ問題にまで発展させ考えたことはなかったから、とても新鮮で勉強になった。考えること、また、発表する大切さも学び今後生かしていきたいと感じた。



— 隠岐西ノ島でのジオパークの取り組みについて考える —

## 隠岐世界ジオパーク野外巡検

2014/7/5・7/6（一泊二日）

鳥取環境大学授業プログラム

- 1日目\*西ノ島ジオツアー\*
- 2日目\*まち歩きツアー\*

島根県立大学  
（松江・浜田）から  
3名参加



### \*プログラムを終えて\*

何も知らずにただ興味本位で臨んだソーシャルワークだったが、いろいろな場面で隠岐世界ジオパークについて学び、「西ノ島とは」ということを考えさせられた。特に、西ノ島では、地元民の力で隠岐ジオパークを盛り立てており、名所案内や資料館の管理まで普段の仕事の傍らで行なっている。そこに私は皆さんの隠岐西ノ島への愛情を感じ、自分もまた、「隠岐世界ジオパークの魅力は自然の雄大さだけでなく、離島ゆえの人々の生活や文化なのかもしれない。」と感じた。

あっという間の1泊2日だったが、「世界に誇れるものがココにはあるのだ。」と思える西ノ島での野外巡検だった。